

いまイラクは……イサームからの手紙-その1

4日前に我が家にたどりつきました。しかし、40日前と比べてずいぶん大きな変化があり驚いています。事態はますます悪くなっており、夜9時から朝6時まで毎日夜間外出禁止令がでています。バクダットのいたるところに民兵のチェックポイントがあり、人々を止めては殺害しています。いたるところで殺人が横行し多くの死体を街で見ます。チェックポイントでは身分証明書を求められ、スンニであれば逮捕されその後殺されます。オー……。通りを移動することはかなり困難になっています。3日前からあなた方に連絡するためにインターネットカフェを探していましたが、今日ようやく1軒見つけました。というのも、安全の保障はなく、また、発電機を動かす石油がないので電気がありません。バクダットでは毎日1ないし2時間しか電気がありません。悲しい現実です。

昨日、バクダットの中央遺体安置所のアデル・アル・モサウイさんから、最近の6カ月間で8000体の遺体を受け取ったと聞きました。この数字でどれだけ多くのイラク人が殺されているかわかりでしょう。問題は、遺体安置所の近くに民兵が待機しており、遺体を持って帰ろうとする人を殺害しようとするので、家族がそこに近寄れないということです。私は、イラクのますます悪くなる状況を世界の友人に送れるかわかりません。しかし、私がみなさんにお約束したとおり、私はこの仕事を続けるつもりです。私の仕事は私の人生をかけたものであり、それは平和のためです。

フリーランス・カメラマン

イサーム R アブドール ラーマン

追伸、みなさんに白血病の新しい事例の写真を送ろうとしましたが、悪条件のため送れません。明日再び試みます。

*** 各団体での取り組み、ニュース・写真を労連闘争本部までお寄せ下さい。**

(担当：藪田・松尾)